

2021 年度事業報告書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

1. 概要

2021 年 2 月 5 日開催の第 36 回理事会で決議された 2021 年度(2021 年 4 月～2022 年 3 月)事業計画に基づき、バイオサイエンス分野の研究者に対する研究助成、国際交流助成及び学会等開催助成などの諸事業を予定どおり実施した。

2. 年間の経緯 (2021 年 4 月～2022 年 3 月)

2021 年

- 4 月 16 日 会計・業務監査
- 5 月 12 日 第 37 回理事会(決議の省略による方法)文書発信。決議日 5 月 18 日
- 5 月 20 日 第 16 回評議員会招集
第 38 理事会招集
- 6 月 4 日 第 38 回理事会(於:電話会議)
第 16 回評議員会(於:電話会議)
- 7 月 6 日 2020 年度事業報告及び決算書類提出(内閣府、電子申請)
- 7 月 1 日 第 33 回国際交流助成(下期)募集開始(8 月 31 日締切)
第 33 回研究助成募集開始(9 月 30 日締切)
- 11 月 1 日 第 33 回学会等開催助成募集開始(11 月 30 日締切)
- 11 月 30 日 第 12 回研究助成報告交流会 ハイブリッド開催(於:大手町サンケイプラザ)
- 12 月 24 日 第 33 回研究助成選考委員会、第 33 回学会等開催助成選考会
※ハイブリッド開催(於:如水会館)
※会場出席は正副選考委員長と財団関係者、他の選考委員はオンライン出席

2022 年

- 1 月 4 日 第 34 回国際交流助成(上期)募集開始(2 月 28 日締切)
- 2 月 4 日 第 39 回理事会(於:電話会議)
- 3 月 4 日 第 33 回加藤記念研究助成贈呈式 オンライン開催(於:※録画配信/プログラム順)
(※3 月 14 日～18 日:オンデマンド配信も実施 特別講演除く)
- 3 月 30 日 2022 年度事業計画書及び収支予算書提出(内閣府、電子申請)
- 3 月 下旬 第 34 回国際交流助成(上期)選考

3. 事業

(1) 助成事業

2021 年度助成事業のまとめ (2020 年度対比)

事業名	応募件数		助成件数		採択率(%)		予算(万円)		実績(万円)	
	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020
研究助成	179	197	31	29	17.3	14.7	5,400	5,000	5,900	5,600
メディカルサイエンス	125	121	20	17	16.0	14.0	3,400	3,200	4,000	3,400
バイオテクノロジー	45	69	8	10	17.8	14.5	1,600	1,600	1,600	2,000
環境バイオ	9	7	3	2	33.3	28.6	400	200	300	200
国際交流助成	5	44	5	0	100	—	400	785	17.9	0
上期	0	※42	0	※0	—	—	0	390	0	0
下期	5	※2	5	※0	100	—	400	395	17.9	0
学会等開催助成	25	18	16	11	64	61.1	300	300	330	270

注 1) 2019 年度から奨励研究(助成金額 100 万円)として環境バイオ分野の助成を開始。

注 2) ※2020 年度は上期 12 件、下期 1 件を選出したが、その後いずれも助成金支給対象外となった。

1) 研究助成

3 つの募集区分に対して7月初めから 9 月末まで募集した結果、前年度より約 10%減の計 179 件の応募があった。選考委員会答申に基づく理事会審議を経て、全 31 件の研究助成(うち、奨励研究 3 件)を行った。採択率は約 17.3%となった。

2) 国際交流助成

上期は、1 月上旬から 2 月末まで募集した結果、応募は 0 件だった。

下期は、7 月初めから 8 月末まで募集した結果、5 件の応募があった。

コロナ禍収束の見通しが立たない状況下、下期開催の国際学会に出向いて発表する先生方は、まだ限定的であった。このような応募状況や予算事情を考慮し、評価率(%)を遵守した運用ではなく、定性的なイメージで各 4 段階の評価を行う事、採択数の目安は設定せず、レベル次第では応募者 5 名全員採択も有りとするといった運用について正副委員長に了承を得た上で審査を進めた。

また新たに助成対象に加えたオンライン発表(助成金額：実費/上限 10 万円)も、応募の段階では 1 名のみであったが、最終的には採択者 5 名全員オンライン発表となった。

助成金総額は、約 18 万円となり、年間予算 400 万円に対し、約 382 万円余った。

3) 学会等開催助成

11 月の一ヶ月間募集したところ、前年度の 18 件に対して 25 件の応募があった。正副選考委員長による

選考会答申に基づく理事会審議を経て、予算 300 万円に対し、30 万円 5 件、20 万円 7 件、10 万円 4 件、の合計 330 万円 16 件の助成を決定した。助成額は選考時の成績順に割り振った。不足分は、2021 年度の国際交流助成に剰余金 380 万円があったことから学会等開催助成に流用した。

(2) 第 12 回研究助成報告交流会

2021 年 11 月 30 日(火)に大手町サンケイプラザにおいて会場とオンラインのハイブリッド形式で開催した。第 30 回(2018 年度)の助成者 28 名中助成期間延長者含む 24 名による口頭発表が行われ、財団関係者(役員・選考委員等)、外部関係者 25 名が参加し活発な質疑応答が行われた。

(3) 年報の発行

2021 年 8 月 31 日付けで 2020 年度年報(第 22 号)を 350 部作成し、関係者へ配布した。また財団ホームページから概略版を公開したほか、国会図書館にも納本した。

(4) パンフレット更新

今年度の財団紹介パンフレットを 450 部印刷し関係各所に配布した。また、ホームページで PDF 版を公開した。

4. 理事会

定例理事会 2 回と臨時理事会 1 回を下記のとおり開催し、各理事会の議案は全て承認された。

(1) 第 37 回理事会(定例／決議の省略による方法)

理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

提案者 理事 小池正道

決議日 2021 年 5 月 18 日(火)

議事録作成者 理事 石田浩幸

同意書 理事 9 名全員、監事 2 名全員(異議ないことを証する書類)

審議事項 ①2020 年度(2020 年 4 月～2021 年 3 月)事業報告及び収支決算報告

②第 16 回評議員会の開催内容

(2) 第 38 回理事会(臨時)

日程 2021 年 6 月 4 日(金)

場所 電話会議(於:公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団)

出席者	理事 8 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 33 回国際交流助成(下期)募集要項(案) ② 研究不正が認定された研究助成者への対応 ③ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 審議事項 ① 助成金交付規程

(3) 第 39 回理事会(定例)

日程	2022 年 2 月 4 日(金)
場所	電話会議(於:公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団)
出席者	理事 8 名、監事 2 名、事務局長
主な議題	報告事項 ① 第 33 回国際交流助成(下期)助成者 ② 2020 年度年報(第 22 号)発行 ③ 第 12 回研究助成報告交流会 ④ 基本財産の運用 ⑤ 2021 年度決算見込み ⑥ 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況 ⑦ 事務局トピックス ⑧ 今後のスケジュール、その他 ⑨ 研究不正が認定された研究助成者への追加対応 審議事項 ① 第 33 回研究助成受領者の選出 ② 第 33 回学会等開催助成対象団体の選出 ③ 2022~2025 年度選考委員の選出 ④ 2022 年度事業計画案 ⑤ 2022 年度収支予算案

5. 評議員会

定例評議員会 1 回を下記のとおり開催し、全議案は承認された。

(1) 第 16 回評議員会(定例)

日程	2021 年 6 月 4 日(金)
場所	電話会議(於:公益財団法人加藤記念バイオサイエンス振興財団)
出席者	評議員 8 名、監事 2 名、理事長、常務理事、事務局長

主な議題	報告事項
	① 2021 年度事業計画及び収支予算
	② 第 35 回理事会報告事項
	③ 第 35 回理事会決議事項
	④ 第 36 回理事会報告事項
	⑤ 第 36 回理事会決議事項
	⑥ 第 37 回理事会報告事項
	⑦ 第 37 回理事会決議事項
	⑧ 第 38 回理事会報告事項
	⑨ 第 38 回理事会決議事項
	審議事項
① 2020 年度事業報告及び収支決算報告	

6. 管理業務

(1) 寄附金受入

2021 年 4 月、協和キリン株式会社より 2021 年度運用財産(事業費及び管理費)として 7,200 万円の寄附を受領した。

(2) ホームページの改訂

各助成対象者について、歴代助成者名簿と共にホームページで公開した。

また財団年報ならびにパンフレットをホームページに掲載した。印刷版の年報には研究助成報告書の全文ならびに国際交流助成の学会参加報告書に掲載し、ホームページでは研究助成報告書は 400 字程度の概要のみの掲載とし、学会参加報告書は掲載していない。

財団理事・評議員・名誉理事 15 名から「若手研究者へのメッセージ」と題して、自身の経験や研究に対する思いなどを書いていただきホームページ上で公開している。

(3) 研究助成の広報

下記の専門誌に研究助成等の広告を行った。

「実験医学」(2021 年 6 月号) 羊土社

「日本生物工業会誌」(2021 年 6 月号) 環境バイオ分野主体で募集広告を掲載

また公募時には、300 を超す大学や公的研究機関の窓口に対しメール案内を実施(7/13)した他、環境バイオ分野の募集増に向けて全国の有力研究室を率いる先生方 100 名強にも直接メール案内を行った(7/16 と 9/10 の 2 回)。

その他、10 月に横浜で開催された BioJapan、および 12 月に都内で開催されたインターフェックス

Week_2021 の会場において、数多くの大学等に対して広報を行った。

(4) 債券等情報の収集と検討

基本財産の運用管理のため、証券会社 5 社から債券市場に関する情報を得た。

7. 人の異動

(1) 選考委員 (敬称略)

佐藤伸一、浅原弘嗣、滝川浩郷、伏信進矢 選考委員就任(2021年4月1日付)

岩田想、浦野泰照、小林武彦、渡部文子 選考委員退任(2022年3月31日付)

(参考)

岩崎博史、王子田彰夫、竹本さやか、村田武士 選考委員就任(2022年4月1日付)